本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO P
DQD-100

取扱説明書

Ⓑ 保証書付

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

本機の特長

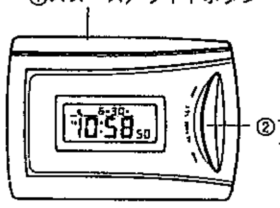
- ●電波時計（国内対応）
- ●正確な時刻と月日を表示
- ●一度止めても再び鳴り出すスヌーズアラーム
- ●5段階でアラーム音が変化する「ステップサウンドアラーム」

製品仕様

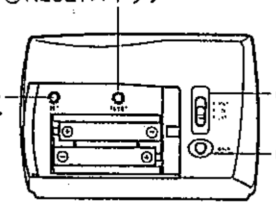
水晶発振周波数	：32,768Hz
表示内容	：現在時刻＝時・分・秒、午後マーク／24時間制表示（24H） 月・日／アラーム時刻＝時・分
電波受信機能	：自動受信（毎時1分*）、手動受信 *条件により毎時1分と31分 受信電波＝長波標準電波 JJY 周波数＝40kHz
精度	：平均月差±30秒以内 （電波受信による時刻修正を全く行なわないとき）
アラーム機能	：セット単位＝分　報知時間＝1分間 電子音アラーム（通常アラーム、スヌーズアラーム／全7回）
その他	：ライト付、12/24時間制表示切り替え
主要回路素子	：音叉型高性能水晶振動子、CMOS-LSI
使用温度	：0～40℃
使用電池	：R6P（SUM-3）×2
電池寿命	：約1年 （電子音1分間／日、ライト5秒間／日、電波受信24回／日使用した場合）

各部の名称と表示の見方

（表面）



（背面、電池ブタを開けたところ）



① スヌーズ／ライトボタン
押すと4～5秒間ライトが点灯します。
※アラーム報音中に押すと音が止まります。
［ご注意］
スヌーズ／ライトボタンは必ずボタン中央を押してください。ボタンの端を押されますと機能しない場合があります。

② アラーム時刻セットボタン
アラーム時刻（または現在時刻など）を合わせるときに使います。

③ セットボタン
現在時刻などを合わせるときに使います。

④ RESET（リセット）スイッチ
電池交換後必ず押します。

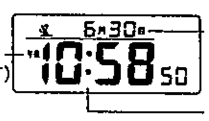
⑤ アラームスイッチ
アラームON／OFF／スヌーズの切り替えができます。

⑥ WAVE（ウェイブ）ボタン
押すと電波受信を行ないます。（手動受信）

★表示の見方

※本機はデジタル表示部に「展示用シール」をつけて出荷していますので、ご使用の前に必ずこの「展示用シール」を取り外してください。

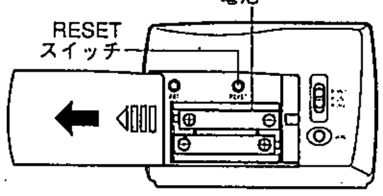
〈アラームがOFFのとき〉



〈アラームがONのとき〉

電源について

- ●本機は単3形乾電池を2本使用します。
- ●乾電池はできるだけ"カシオ指定の電池"または同等品をご使用ください。
- ●時計をご使用にならないときは、電池を取り外して保管してください。



お願い

機種により付属の電池を製品に入れて出荷しております。この場合は、電池消耗を防ぐために、電池部分に「絶縁シート」をつけておりますので、ご使用の前に必ずこの「絶縁シート」を抜き取ってください。

■電池交換のしかた
(1) 電池ブタを開け、古い電池を取り出します。
(2) 新しい電池の⊕⊖を間違えないようにして完全に押し込みます。
(3) 電池交換後RESETスイッチを押します。
(4) 電池ブタを閉じます。

<ご注意>
- ●電池の⊕⊖の向きは正しく入れてください。
- ●電池が消耗しますと表示が「薄くなったり」「消えたり」します。このようなときは長時間放置せず、すみやかに新しい電池と交換してください。
- ●付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
- ●付属の電池はモニター用電池*のため、本書記載の電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
  *モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※電池が液もれを起こした場合は液に触れずにすぐにふきとってください。
※電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合はただちに医師と相談してください。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）

⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）

●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

袋をかぶって遊ばないでください

製品本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、手の届かないところに保管または廃棄してください。窒息の原因となります。

電池の取り扱いについて

使用している電池を取り外した場合は、誤って電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

電池は、充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。

⚠注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。

設置場所について

本機を不安定な場所に置いたり、不確実な掛け方をしないでください。倒れたり、落ちたりしてケガや故障の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災の原因となることがあります。

台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所には置かないでください。火災の原因となることがあります。

電池について

電池は使い方を誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ●極性（⊕と⊖の向き）に注意して正しく入れてください。
- ●新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- ●種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- ●長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておいてください。
- ●本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

ご使用上の注意

- ●本機は精密な電子部品で構成されていますので、「極端な温度条件下」、「強い磁気の当たる場所」、「はげしい振動のある場所」での使用や保管および「強いショック」をさけてください。
- ●高温では電池寿命が短くなったり故障の原因になったりしますので、暖房器具の近くや直射日光のあたる所では使用しないでください。
- ●浴室など湿気の多い場所では使用しないでください。
- ●本機を分解しますと、精度や機能が低下しますので、絶対に分解しないでください。
- ●汚れは、「乾いた柔らかい布」か、「中性洗剤に浸し固くしぼった布」でおふきください。シンナー・ベンジンなどの揮発油やアルコール類では絶対にふかないでください。

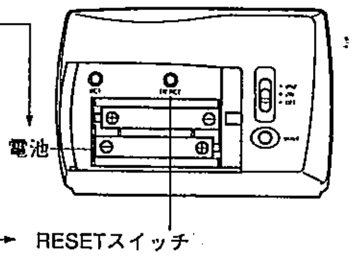
■液晶パネルの交換について
液晶パネルは約7年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

本機の使い方

本機ご購入後初めて使用するとき、および電池交換後には、以下の手順で操作を行なってください。
※本項目と共に「電波時計について」を合わせてお読みください。

1　電池を入れます（「■電池交換のしかた」参照）

本機背面の電池ブタを開き、⊕⊖の向きに注意して、電池を正しく入れます。

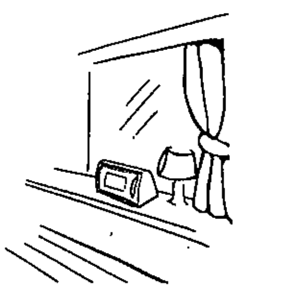


2　RESET（リセット）スイッチを押します(リセット操作)

本機背面のRESETスイッチを押します。
→時刻表示が「午後12：00」となります。
※電池交換を行なったあとは、必ずRESETスイッチを押してください。
※リセット操作が終わったら電池ブタを閉じます。

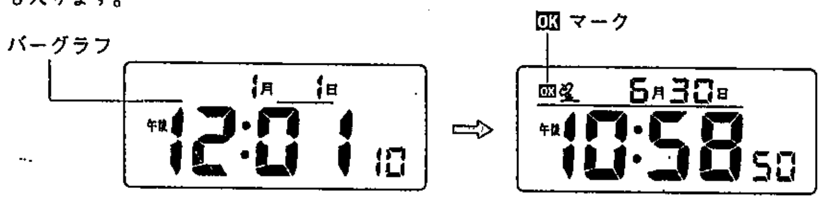
3　本機を使用したい場所に置きます

「午後12：01」になると、自動的に電波受信を開始して時刻修正を行ないますので、窓際などできるだけ電波受信しやすいところに置いてください。
※受信中はバーグラフが左から右に流れて表示されます。
※受信成功まで約9～14分かかります。
※受信中はボタン操作を行なわないでください。



➡ **受信成功**

電波マークが点灯して数字がくるくる回り、「月」「日」「時」「分」「秒」の順番で正しい時刻を表示します。時刻表示完了後、約3秒間 OK マークが点滅します。
※受信成功後、テレビや電話サービス等の時刻と本機の表示する時刻を照合してください。
※場合により「時」「分」「秒」のみ表示されることがありますが、その後受信成功すれば、「月」「日」も入ります。



➡ **受信できない**　…時刻修正は行ないません。

約14分後に受信は止まります。
※このときは、本体の向きや置き場所を変えてWAVEボタンを押すか、セットボタンで時刻を合わせてからWAVEボタンを押して、もう一度受信開始させてください。（「時刻の合わせ方」参照）

・WAVEボタンを押すと確認音が鳴り、電波受信を開始します。…手動受信
※WAVEボタンを押さなくても「午後12：31」になると、再び自動受信を開始します。以後、受信成功するまで30分毎に自動受信を行ないます。（最大36時間）

受信できない場合でも、翌日に電波受信成功することもありますので、しばらくそのままにしておいてください。

4　1～2週間電波受信の様子を見ます

本機は、通常毎時1分（1日24回）に電波受信を自動的に行ないます。

"電波マーク" が常に点灯している、または点灯しているときが多い

⇩

電波受信は良好

そのまま、その場所でお使いになれます。

"電波マーク" がまったく点灯しない、または時々しか点灯しない

⇩

電波受信しづらい

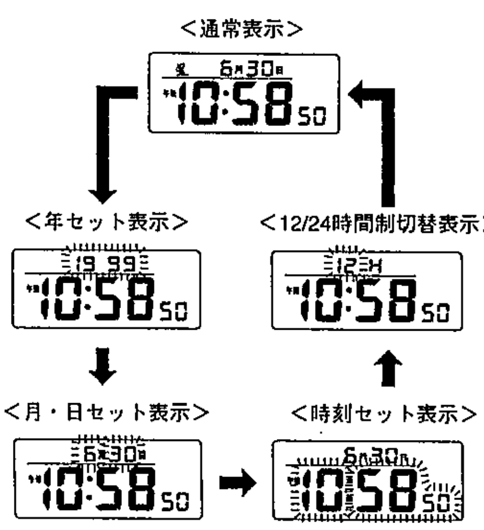
その場所では電波受信しづらいので、置き場所を変えてください。
その場所で使用するときは、ときどき受信可能な別の場所で電波受信を行なってください。

●アラームを使用するときは「アラームの使い方」を参照してください。

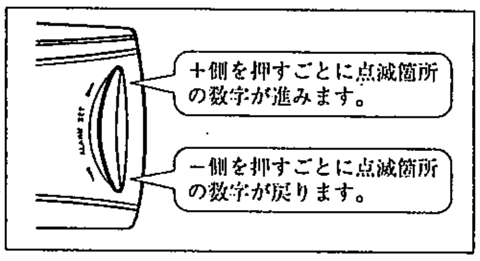
時刻の合わせ方

電波受信により、時刻修正できないときに以下の操作を行なってください。
以下の操作で時刻を修正すると、修正後24時間は自動電波受信は行ないませんので、ご注意ください。

(1)本機背面（電池ブタ内）のセットボタンを押すごとに以下の順に点滅する表示が切り替わります。



(2)アラーム時刻セットボタンを使って、現在時刻などを合わせることができます。



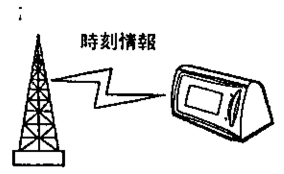
※それぞれ押し続けると早送り／戻しができます。
★年は1998年～2039年までセットできます。
★<時刻セット表示>のときはボタンを押して分を進めた（戻した）タイミングで00秒になります。
★<12/24時間制切替表示>のときはボタンを押すごとに、12時間制表示と24時間制表示とが切り替わります。

(3)セットが終わりましたら、セットボタンを押して<通常表示>に戻します。
※セット状態で表示を点滅したままにしておくと、約3分後自動的に<通常表示>に戻ります。

電波時計について

●電波時計とは

正確な時間情報［日本標準時］をのせた標準電波を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。
本機は、長波標準電波(40kHz)を受信します。



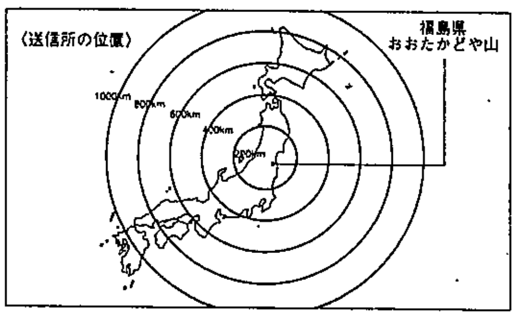
日本標準時：日本の時刻のもとになるもので、テレビの時報などに利用されています。
この標準時は「セシウムビーム型原子周波数標準器」等により制御されています。

●標準電波

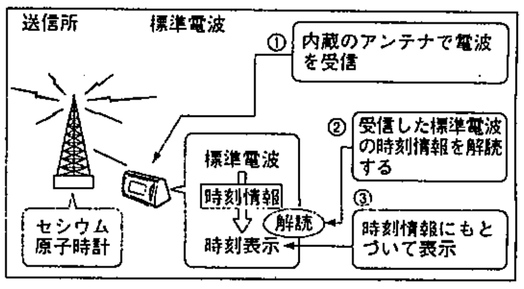
標準電波は郵政省通信総合研究所（CRL）が運用しております。
長波標準電波は、福島県田村郡のおおたかどや山標準電波送信所から送信されます。
この標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信中断されることもあります。

●電波の受信範囲の目安

条件の良いときは、送信所からおよそ1000km離れた場所でも受信することができます。
※ただし、約500kmを超えると電波が弱くなるので、受信しにくくなることがあります。
また、受信範囲内であっても、季節や天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響などによって、受信できないことがあります。

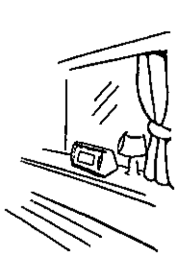


●受信のしくみ



●電波受信について

本機は、通常毎時1分に電波受信を自動的に行ないます。(条件により毎時1分と31分に行ないます)
※1回の受信は約4～14分間（リセット直後は約9～14分間）です。
※受信に成功すると、数字がくるくる回り、「月」→「日」→「時」→「分」→「秒」の順番で正しい時刻を表示します。時刻表示完了後約3秒間 OK マークが点滅します。



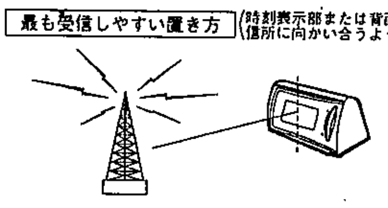
受信成功しますと、電波マークが点灯し、以後午前2時と午前3時まで点灯継続します。午前2時と午前3時になりますと消えますが、その後受信成功すると、翌日の午前2時と午前3時まで再び点灯継続します。電波マークは電波受信が成功しているかどうかの目安になります。

<正しく受信するために>

○電波受信できる場所に置いてください。（「使用場所について」参照）

○本機を電波送信所方向に向けると、受信しやすくなります。（本機に内蔵されている受信アンテナと電波送信所が垂直方向になるように置くと、最も受信しやすくなります）

最も受信しやすい置き方（時刻表示部または背面を電波送信所に向かい合うように置く）



○受信中（バーグラフ表示中）にボタン操作をしないでください。なお、受信中にWAVEボタンを押すと、受信を中断します。

<ご注意>

○時刻セットボタンを使って現在時刻を修正すると、以後24時間自動受信は行ないません。ただし、この間にWAVEボタンを押して手動受信を行なうと、その時点で解除されます。

○アラームONでアラーム時刻を設定している時刻台での自動受信は行ないません。（例：アラーム時刻＝午前7時15分のとき、午前7時1分の自動受信は行ないません）

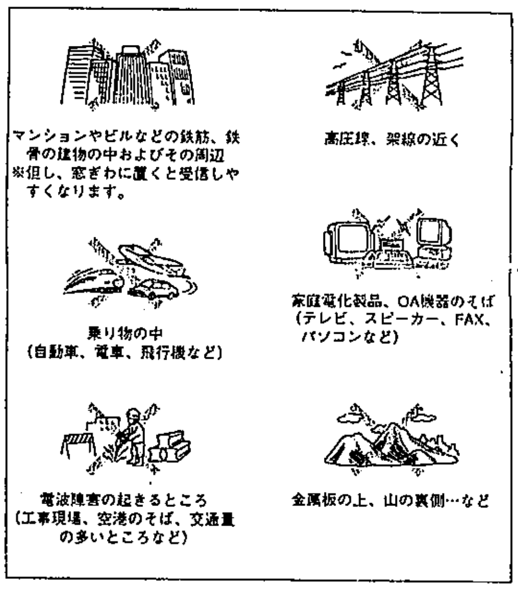
○電波障害により、誤った信号を受信することがあります。

○電波受信を行なわない間は、「製品仕様」記載の精度で計時します。

●使用場所について

本機は、テレビやラジオなどと同様に、電波を受信するものです。本機を使用するときは、「電波を受けやすい」部屋の窓際などに置くようにしてください。

以下のような場所では、電波受信しにくくなりますので、このような場所は避けて本機をお使いください。



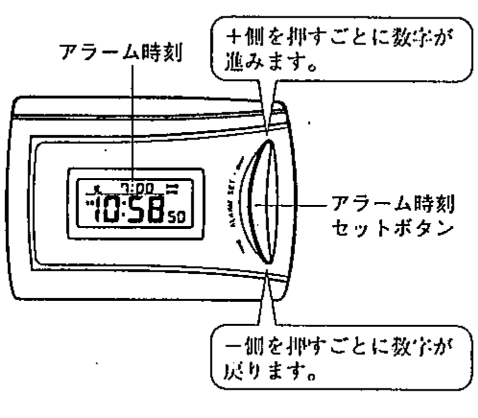
アラームの使い方

あらかじめ設定した時刻になると、アラーム音が鳴りだします。
なお、アラームスイッチの位置により、止めても繰り返し鳴るスヌーズアラームとして使うことができます。

●アラーム時刻の合わせ方

アラーム時刻セットボタンを使って、アラーム時刻を合わせることができます。

電波受信中はアラーム時刻を合わせることはできません。このようなときは、WAVEボタンを押して電波受信を止めてからアラーム時刻合わせを行なってください。



※押し続けると早送り／戻しができます。

●アラームのON／OFF設定

本機背面のアラームスイッチの位置でアラームON／OFF／スヌーズが選べます。

アラームスイッチ	鳴り方
SNZ ((SNZ)) (((●)))	アラームセット時刻になるとアラーム音が1分間鳴り、5分おきに7回報音を繰り返します。 なお、スヌーズ／ライトボタンを押して音を止めても、再び鳴りだすスヌーズアラームです。 ※"((SNZ))"マークが点滅しているときは、アラーム音が再び鳴ります。（スヌーズアラーム機能中）
ON (((●)))	アラームセット時刻になるとアラーム音が1分間鳴ります。
OFF	アラームセット時刻になってもアラーム音は鳴りません。

※アラーム音は1分間5段階でだんだん変化します。

●鳴っているアラーム音を止めるには

・鳴っているアラーム音を止めるには、スヌーズ／ライトボタンを押します。（スヌーズアラームのときは再び鳴ります）

・スヌーズアラーム機能を解除するには、アラームスイッチを"OFF"にします。